

東北情報通信懇談会平成25年度公募プロジェクト実施報告書

「震災復興に向けてコンテンツ（地域資源の観光、アニメ、農業等）の持つ力とスマートフォン活用による調査研究」

主 催 宮 城 県
連携会員（一社）宮城県情報サービス産業協会



みやぎモバイル
ビジネス研究会

事業概要

活動目的

地域資源である観光、アニメ、農業等のコンテンツの持つ力を、スマートフォンを活用して震災復興にどのように生かすことができるかについて探る調査研究活動を行う。

事業計画

- 1 異業種、様々な団体との交流イベントの開催
- 2 観光、アニメ、農業等とスマートフォンの連携などをテーマにした研究会やイベントの開催
- 3 モバイルアプリケーションの試作
- 4 研究成果発表会の開催

実施主体

宮城県
みやぎモバイルビジネス研究会



1 異業種、様々な団体との交流イベント

平成26年2月7日

だてべんin石巻

オープンデータは地域に何をもたらすのか？～石巻で問う先進自治体の挑戦

静岡、大阪の各々の取り組みをご紹介いただき、ディスカッションを行いました。

日時：平成26年2月7日（金）19:00-21:00

会場：IRORI石巻

主催：みやぎモバイルビジネス研究会

共催：東北情報通信懇談会

協力：株式会社CCL／一般社団法人イトナブ石巻／宮城県

▼プログラム

1. 基調講演

- 「地方発イノベーション、大阪からの挑戦」
角 勝氏（大阪市 大阪イノベーションハブ担当）
- 「静岡県が取り組むデータ開放の試み」
杉本 直也 氏（静岡県 情報政策課）

2. ディスカッション

- スピーカー：杉本 直也氏／三嶋 順氏（アンデックス株式会社 代表）／
原 亮氏（みやぎモバイルビジネス研究会 会長）



2

1 異業種、様々な団体との交流イベント

平成26年2月20日

第4回モバイルコンテンツサミット2014in
大阪

ハッカソンから考える地域発ITの勝負ドコロ

モバイルを活用した地域ならではの取り組みを各地から持ち寄り、情報共有と交流、連携を生み出すイベントを開催しました。

日時：平成26年2月20日（木）13:30-17:00

会場：大阪イノベーションハブ

主催：Fandroid EAST JAPAN／

みやぎモバイルビジネス研究会

共催：大阪市都市計画局／東北情報通信懇談会

協力：北海道モバイルコンテンツ推進協議会／

宮城県／岐阜県

▼プログラム

1. 主催者あいさつ
2. 基調講演「ハッカソンが目指すもの」
スピーカー：原 亮氏（Fandroid EAST JAPAN 理事長）
3. 休憩
4. 事例紹介プレゼン（10分×7団体）
5. パネルディスカッション
「ハッカソンで生まれるエコシステムとは」



3

1 異業種、様々な団体との交流イベント

平成26年3月7日

HONDA DNA Hacakathon

HONDAのDNAをHackして、震災復興を加速させよう。

HONDAの“ものづくり”の姿勢や取り組み方を学ぶイベントを実施しました。

日時: 平成26年3月7日(金)13:30

～ 平成26年3月8日(土)18:00

会場: 旅館すがわら(宮城県鳴子温泉)

主催: 本田技研工業株式会社

共催: 株式会社リバースプロジェクト／

一般社団法人東北国際フィルム&アートフェスティバル協会／

みやぎモバイルビジネス研究会

後援: 宮城県

▼プログラム

○3月7日(金)

1. オープニング / internavi 説明 / アイデアソン開始

2. アイデア発表 & チーム分け

3. ハッカソン開始(アプリ開発)

○3月8日(土)

1. 成果発表 & プレゼン & 結果発表

2. 解散



4

2 研究会・イベントの開催/参加

平成25年7月31日

組込み産業地域交流プラザ 2013in宮城

「組込み産業地域交流プラザ2013in宮城」にMiMoS会員企業の2社の製品を出展しました。

日時: 平成25年7月31日(水)10:00～20:00

場所: エルパーク仙台6Fギャラリーホール

主催: 組込みシステム産業振興機構／

みやぎ組込み産業振興協議会／宮城県

テーマ:

「情報家電」「ヘルスケア」「エネルギー」「ロボット」をテーマとした東北と関西の最新技術の連携について

▼プログラム

1. セミナー

2. 企業展示(関西7社・団体、東北15社・団体)

3. 交流会



5

2 研究会・イベントの開催/参加

平成25年8月26日

オープンデータ・カフェinだてべん

海外事例から考えるオープンデータ利活用の展望と課題

日本でのOD利活用にどのようなヒントや課題が見えるのか。海外425件のサービスを調査した女子大生が解説しました。

日時:平成25年8月26日(月)19:00~21:00

会場:アエル8F 会議室

主催:みやぎモバイルビジネス研究会/株式会社CCL

共催:東北情報通信懇談会

協力:Fandroid EAST JAPAN/宮城県

▼プログラム

1. 「岐阜県発 オープンデータを活用した新サービス創出・研究プロジェクト」のご紹介(原氏)
2. イベント参加報告(原氏)
3. プレゼン「オープンデータ利活用に関する海外事例」(三浦氏)
4. ディスカッション



6

2 研究会・イベントの開催/参加

平成25年11月13日

オープンデータ利活用セミナー

地元産業から考えるオープンデータのビジネス活用

具体的なOD活用分野として水産加工業を挙げ、ビジネス分野での利活用について議論を試みました。

日時:平成25年11月13日(水)19:00-21:00

会場:エル・パーク仙台 セミナーホール1・2

主催:みやぎモバイルビジネス研究会

共催:東北情報通信懇談会

協力:株式会社CCL/宮城県

▼プログラム

1. セミナー
2. 企業展示(関西7社・団体、東北15社・団体)
3. 交流会



※写真はCCLブログより

7

2 研究会・イベントの開催/参加

平成25年12月4日

ICTメンタープラットフォーム

SPARK! TOHOKU ~東北発ICTビジネスの勝負ドコロを探る

ICTビジネスを広く紹介する場として、東北地域のICT企業によるプレゼンイベントを実施しました。

日時:平成25年12月4日(水) 15:00~18:30

会場:宮城県庁 1F みやぎ広報室

主催:宮城県/みやぎモバイルビジネス研究会

共催:独立行政法人情報通信研究機構(ICTメンタープラットフォーム)
/東北情報通信懇談会

協力:Fandroid EAST JAPAN

▼プログラム

1. 開会ごあいさつ
2. 主催共催活動紹介
3. メンター講演(田中慎也氏/株式会社 美人時計)
4. 東北ICT企業プレゼン
5. 審査
6. 昨年度発表企業紹介/NICT賞発表
7. 総括ディスカッション



審査の結果、下記2社が3月5~6日に東京で開催された「Entrepreneurs' challenge 2days」へ選出されました。
・株式会社プラスヴォイス(宮城県)「手書き電話、UD手書き」
・株式会社 アイティワーク(青森県)「産直向けポスレジ」

8

2 研究会・イベントの開催/参加

平成26年1月22日

新規参入事業説明会

車両走行データなどの積極的な活用に取り組む本田技研工業株式会社のテレマティクスの取組みについてご講演いただきました。

日時:平成26年1月22日(水) 14:00~

会場:宮城県自治会間2階203会議室

主催:宮城県/みやぎモバイルビジネス研究会/
みやぎ組込み産業振興協議会

共催:宮城県情報サービス産業協会/東北情報通信懇談会

▼プログラム

1. 開会
2. 挨拶
リバースプロジェクト代表 亀石 太夏匡氏
宮城県情報産業振興室室長 小松 直子
3. ホンダテレマティクスの取組み紹介
本田技研工業株式会社 今井 武氏
4. ビジネスアライアンスコンテスト概要説明
本田技研工業株式会社 野川 只文氏、一之瀬 秀美氏
一般社団法人東北国際フィルム&アートフェスティバル協会
嘉村 康祐氏



9

2 研究会・イベントの開催/参加

平成26年2月6日

だてべん Extra2014

オープンデータ先進国に学ぶ データ開放と官民協働のビジョン

静岡県のODカタログ運用の事例についてご講演いただき、OD×ビジネスの可能性についてのアイデアワークショップを行いました。

日時:平成26年2月6日(木) 19:00~21:00

会場:エルパーク仙台 6階 スタジオホール

主催:みやぎモバイルビジネス研究会

協力:株式会社CCL/宮城県/東北情報通信懇談会

▼プログラム

1. 基調講演

「静岡県は何でオープンデータに積極的なのか？」
杉本 直也氏(静岡県 情報政策課)

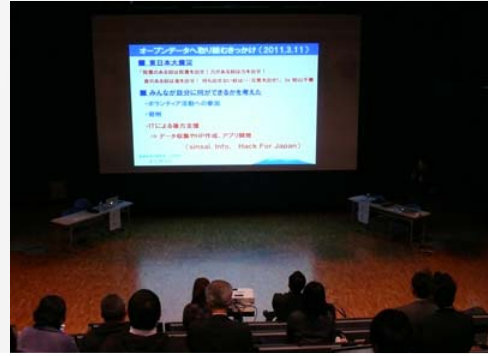
2. ディスカッション

スピーカー 杉本 直也氏

三嶋 順氏(アンデックス株式会社 代表)

原 亮氏(みやぎモバイルビジネス研究会 会長)

3. アイデアワーク



10

3 モバイルアプリケーションの試作

平成26年3月7日

スマートフォンアプリ

サカナップみやぎ

宮城県の美味しい水産加工品を、もっと多くの人にアピールするためのアプリの企画・作成をしました。

内容

- ・企業のデータ
- ・直売所のデータ
- ・商品のデータ

などの様々な情報を、スマートフォン(Android端末)で手軽に確認できる。

今後の展望

- ・イベント情報の配信(お買い得情報など)
- ・レビュー投稿(買い手側)
- ・Web等でレビューを確認できる(売り手側)

デモ版のインストール

<http://goo.gl/8sz0xV>



11

4 研究成果発表会

平成26年3月19日

水産×ITセミナー

ITのちからで水産業の未来を探る

震災復興に向けてより付加価値の高い持続可能な水産業の育成に、ITを如何に活用できるかを考えました。

日時:平成26年3月19日(水) 13:30~17:20

会場:せんだいメディアテーク7階スタジオシアター

主催:みやぎモバイルビジネス研究会/宮城県/
一般社団法人宮城県情報サービス産業協会

共催:東北情報通信懇談会/宮城県漁業士会

▼プログラム

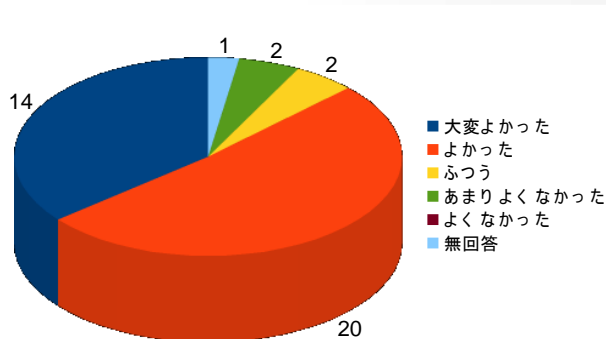
1. 開会
2. 講演「はこだて水産×ITの取り組み」
公立はこだて未来大学教授 和田雅昭氏
3. パネルディスカッション、質疑応答
壇者:和田雅昭氏/前川文人氏(県農林水産部 水産業振興課)/
高橋征信氏(高栄水産(宮城県漁協 松島支部)かき生産者)/
三嶋順氏(みやぎモバイルビジネス研究会事務局長)
4. 水産加工データベース・産直マップの取り組みについて
宮城県水産業振興課/みやぎモバイルビジネス研究会)



4 研究成果発表会 (アンケート結果)

Q1.

今回のテーマ:水産×IT「ITのちからで水産業の未来を探る」はいかがでしたか?



テーマについては[良い]以上とする評価が34名と大半を占めた。(以下、参加者コメントの抜粋)

Aさん(漁業関係)
「今後、必要となる分野なので、良いお話が聞けて満足だった」

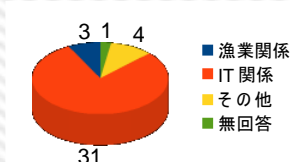
Bさん(IT関係)
「事例からの話の展開だったが、それとは別に、水産が抱える課題からの話の展開もあってよかった」

Cさん(IT関係)
「最初は漠然とした印象だったが、詳細なテーマでない方が、色々な意見や話を聞くことが出来たので、最終的にはよかったと思う」

総評

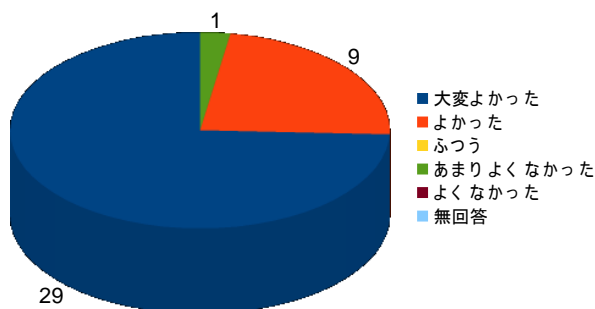
漁業関係者の中でAさんのように、ITの必要性を感じている方がいる部分を読み取れた。今回は事例からの話の展開だったが、それとは別に漁業関係者の方に問題提起して頂き、それについてのディスカッションをするという運びも良いのかもしれない。逆に、Cさんのように詳細なテーマを設けずに色々な角度から意見を聞けたところが良かったとの評価もある。

参加者総数65名中、アンケート回答数39名(回答率約60%)



4 研究成果発表会（アンケート結果）

Q2.
今回の講演「はこだて水産×ITの取組み」
公立はこだて未来大学教授 和田雅昭氏は
いかがでしたか？



和田氏の講演については、大変良かったとの評価が29名と大半を占めた(以下、参加者コメント抜粋)

Aさん(漁業関係)
「ITの活用事例は大変参考になった。宮城県の資源管理にも適用できるものと確信した」

Dさん(IT関係)
「漁師さんとしっかりコミュニケーションを取って、彼らが困っていることをちゃんと把握して行われている姿勢が勉強になった。」

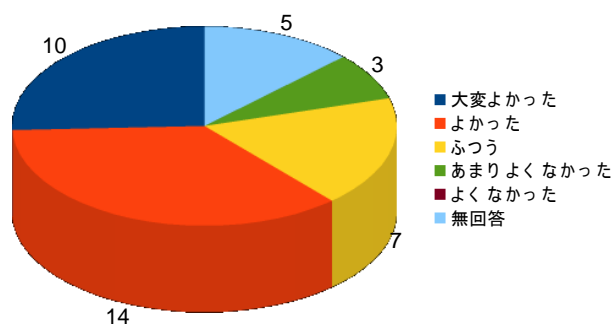
総評

和田氏の実際の成功事例を聞いたことで、ITの活用に対し、積極的な意見が漁業関係のAさんのコメントからも見て取れる。
回答は「具体的でわかり易い」とのコメントが多かった。和田氏のスピーチ技術的な部分もあると思われるが、具体的な成功事例を見せたことが効果的だったのではと推測する。
成功事例の中に漁師さんとのコミュニケーションという部分が出てきていたので、Dさんのようにそこを参考にされた方もいたようだ。

14

4 研究成果発表会（アンケート結果）

Q3.
今回のパネルディスカッションは
いかがでしたか？



パネルディスカッションについては、良い以上の評価が70%以上を占めているが、ふつうが7ポイント、あまり良くなかったが3ポイント、無回答が5ポイントと他に比べて多い(以下、参加者コメント抜粋)

Bさん(IT関係)
「次代の担い手に必要な課題解決や、担い手自体の確保に関する話題も欲しかった」

Eさん(IT関係)
「時間がたっぷりあって、よかった(通常、パネルは短いと感じることが多いので)」

Fさん(IT関係)
「生産者の声を聞いたことはありがたかった」

Gさん(IT関係)
「まさにディスカッションになっていた。みなさんの高度な質問に関心しきりで圧倒されていました。一体感があったと思います」

総評

時間が長いと指摘したコメントは見当たらなかった。Eさんのコメントにあるように、ディスカッションの時間の取り方としては適切だったのかもしれない。
Fさんのように、生産者の声を聞いたことが良いと評価している方は他にもおり、パネルに漁業関係者を迎えたことは成功と言える。
ただ、Bさんのように他の話題についても触れてほしかったとの意見もあり、事前に問題点を洗い出すためのアンケートを取る等、なんらかの対策を取ることも効果的かと思われる。

アンケート結果まとめ

今後の水産×ITのイベントを開催した場合について、あまり参加したくない、参加したくないにマークした人はおらず、内容について評価が低い方でも、水産×ITに対してある程度の興味、参加意欲を持っていると思われる。
以上を踏まえ、全体的に高めの満足度を得られたイベント結果となった。

15